

# 書あり 師あり 友ありて



## 人権啓発作品作文部門 表彰6作品すべてが大蔵中生

学校長 平田 高之

このことについて、すでにホームページでお知らせしておりましたが、夏休みが短縮されたことで、臨時休業中の課題としていた「人権啓発作文」の市の選考結果が先日学校に届きました。

市内各中学校から選び応募された326作文の中から、厳正な審査の結果(選考に際しては学校名・個人名は伏せられます)優秀賞・入選の6作品すべてが大蔵中生という結果でした!

昨年度も、優秀賞2名、入賞1名、さらには「あかしヒューマンフェスタ」で、その2名が作文を朗読発表してくれましたが、本年度は、6名全員が大蔵中生ということで、驚きとともに素晴らしい作文を書いてくれた生徒たちを大変誇りに思っています。

この6名以外の作文も素晴らしいものが多かったようです。例年、全校生徒の前で、各学年代表の作文を発表してもらうのですが、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために、学年単位でしか実施できませんでした。12月には「人権週間」がありますので、機会があれば作文をご紹介できればと考えております。

まずは、受賞者及び作品名を改めてご紹介します。

### ☆優秀賞☆

3年生 □□□□□□「あの日の友達のように」

3年生 □□□□□□「命の天秤」

3年生 □□□□□□「今、私たちがとる行動とは」

### ☆入選☆

2年生 □□□□□□「障害のある方にとってのやさしいまちづくり」

1年生 □□□□□□「小さな優しさ」

1年生 □□□□□□「高齢者・障害者に対しての人権」



## 感染登校許可書(インフルエンザ)の変更について

このことについても、すでにホームページでお知らせしておりますが、明石市教育委員会が、明石市医師会及びあかし保健所と協議し、保護者及び医療機関の負担軽減及び感染拡大防止を図るため、インフルエンザについてはこれまでの「感染症登校許可書」に代わり、12月1日より「インフルエンザによる欠席期間の報告書」を使用し、保護者に作成・提出して頂くことに変更となりました。

11月20日に、関係のおしらせプリントを配布しておりますし、ホームページにも関係書類を添付しておりますのでご活用下さい。

## 第38回兵庫県中学校剣道新人大会で男子団体・個人とも準優勝!

「東播地区中学校新人体育大会」において、男子団体優勝した剣道部が、先週末に姫路ウイング武道館において行われた県大会に臨みました。今回は、新型コロナウイルス感染症のために、無観客試合となりましたが、関係者の皆様のご尽力で無事に開催されました。

初戦の山崎西中学校(宍粟市)には、最初の3名が2本勝ちで3連勝し、3勝2敗でまず突破しました。

続く、大庄北中学校(尼崎市)には、最初の2名が引き分けて、3人目が0-1で敗れ、4人目も引き分けという、後がない苦しい状況の中、キャプテンで大将の□□□□が見事な2本勝ちで逆転勝利を収めました。

続く3回戦は、全員とも調子が上がってきて、狭間中学校(三田市)に、5人とも1本勝ちの5勝で突破しました。

準決勝の相手は、市内大会決勝、東播大会準決勝で対戦した大久保中学校でしたが、この試合も最初の3名が引き分けという苦しい展開の中、4人目□□□□の2本勝ちのリードを大将□□□□が守り切り、1勝4分けて決勝進出を決めました。

決勝の相手は、平成27・29・30年度にも決勝で対戦し、すべて苦杯をきしたライバル加古川中学校でした。まず、一人目の□□□□が1-0で幸先よく勝利をあげ、その後3名とも引き分けて、リードを保ったまま大将戦に突入しました。しかし、終了間際に相手にポイントを与えてしまい、1勝1敗3分となり代表戦にもつれ込みました。相手には、本戦で敗戦寸前から追いついた勢いがあり、先に1本を取られ逆転負けとなりました。

しかしながら、見事な準優勝で、3月に行われる予定の近畿大会の出場権を獲得しましたから胸を張ってほしいし、今回の悔しさをバネにして、最後の総合体育大会では雪辱が果たしてほしいと願っています。そのためには、練習に精進するのはもちろんですが、普段の学校生活から自覚を高く持って過ごしていくことが大切だと考えています。

また、同時に行われた個人戦においても、□□□□2位、□□□□3位、□□□□ベスト8の素晴らしい結果を残してくれました。

